

みんなで育てる福祉のこころ



1人は万人のために 万人は1人のために



第592号

発行日 毎月20日
定価一部 15円

※会員の購読料は
会費の中を含む

(一社)佐賀県労働者福祉協議会 佐賀市神野東四丁目7番3号 TEL 0952 (32) 1243
ホームページアドレス : <http://saga.rofuku.net/>

発行人 井手 雅彦
編集人 江頭 一哉

賀正



2020年 あけましておめでとうございます。



旧年中は、労福協・各事業体の諸活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年も労働者福祉運動と自主福祉事業の基盤強化及び運動の継承を図るため鋭意努力してまいります。また、労福協勤労者旅行会についてもご愛顧いただきますようお願いいたします。

皆さんと共に、「連帯・協同で安心・共生の福祉社会の実現」に向かって前進していきましょう。

有田地区 会長 草場 薫	藤津・鹿島地区 会長 田中 洋一	杵島・武雄地区 会長 平山 憲	伊万里地区 会長 野中 靖洋	唐津・東松浦地区 会長 岳 順一	小城・多久地区 会長 稲富 修	佐賀地区 会長 永石 亀	神埼地区 会長 山崎 裕介	鳥栖・三養基地区 会長 大森 充	監事 待鳥 洋文	戸川 武幸	野中 豊明	市川 智博	俣野 勝敏	田中 洋海	大森 充	田代 茂	理事 渡邊 論	常務理事 高祖 和彦	専務理事 江頭 一哉	副理事長 石橋 正純	原口 郁哉	青柳 直	理事長 井手 雅彦
-----------------	---------------------	--------------------	-------------------	---------------------	--------------------	-----------------	------------------	---------------------	----------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	---------	------------	------------	------------	-------	------	-----------

2020年 年頭のごあいさつ



佐賀県労働者福祉協議会

理事長 井手 雅彦

明けましておめでとうございます。会員ならびにご家族の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

地球温暖化の影響でしょうか、近年は毎年のように台風や豪雨による大規模な自然災害が全国各地で発生しています。昨年、ついにはこの佐賀においても豪雨による災害が発生してしまいました。家屋や自動車、農作物等をはじめ旅館等のキャンセルも相次ぐなど、大きな被害となってしまいました。何よりも亡くなられた方や未だ行方不明とされている方が出たことが残念でなりません。

昨今の異常気象による自然災害は、日本のみならず世界規模で多発しており、世界的な気候変動による海水温や海面の上昇による影響が強いられています。

ともなれば、今後、この異常気象による災害はますます増え続けていくことが予想され、これまでの延長線上の災害対応では対応しきれない状況になることが懸念されます。いつ発生するかわからない自然災害に対し、私たちはどう向き合っていくのか、どうやっ

て自らの命や家族の命、そして生活や暮らしを守っていくのか、備えというものを日常の生活の中において常に意識しておくことが重要だと考えるところです。

この気候変動を含め、現在、日本はあらゆる分野において時代の節目を迎えているのではと思っています。

ひとつは、これまで経験したことのない超少子高齢化社会の到来による、人口そして生産年齢人口の急激な減少です。現在すでに企業における人材不足は深刻な状況にあると言われており人材の確保が、いま最も重要な課題となっています。この状況はこれから、さらに加速度的に厳しくなっていきます。

もうひとつは、本年より通信が順次4Gから5Gへ移行していき、これによりよいよIOT、ビッグデータ、AI時代が本格的に到来します。第4次産業革命がおこることになり、私たちの生活は一変し、また働き方がこれまでの概念からかけ離れた働き方に変化していくと言われていいます。私たちは、これらのイノベーションや急激な人口減少により派生する課題に対し、対処策などの今後の方針・方向性を見出していくことが、必要と思うところです。

いずれにしても、どのような時代になろうとも安心して働き続け安心して暮らせる持続可能な社会構築に向け、私たちはあらゆる取り組みを推進していかなければならないと考えています。

本年も労福協事業の取り組みに対し、これまで同様のご理解とご協力をお願いし、年頭の挨拶と致します。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2020年 年頭のごあいさつ



労働者福祉中央協議会

会長 神津 里季生

新年明けましておめでとうございます。

昨年は中央労福協の諸活動にご協力をいただき、ありがとうございました。とりわけ、結成70周年の節目にあたっての活動の検証や今後の方向性について、組織の内外より貴重なご意見・ご助言をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

お陰様で、昨年11月の総会で「労福協の理念」と今後の活動の指針となる「2030年ビジョン」を決定し、次の10年の活動へ一歩を踏み出しました。私たちは、この理念やビジョンに基づき、すべての働く人の幸せと豊かさをめざし、連帯・協同の力を結集し、「安心・共生の福祉社会」を実現するための取り組みを進めていきます。

世界で格差や貧困が広がり、持続可能性の危機が深まっています。日本でも自己責任論が蔓延し、「助

けて」と言えない社会の空気が強まっています。今こそ、貧困をなくし「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会をめざすSDGsの目標達成や、「助け合い・支え合い」を社会に根づかせていくために、私たちが真価を発揮する時です。

そのためには、労働組合と協同組合がそれぞれの役割を果たすとともに、相互に連携していくことが極めて重要です。ILO(国際労働機関)とICA(国際協同組合同盟)は、ディーセントワークの実現や協同組合の促進においてパートナーとしての関係を深めています。日本においても、労働運動と労働者福祉事業が「ともに運動する」関係を強化し、共助の輪を広げるとともに、公的セーフティネットの強化との両輪で、安心して働き暮らせる地域共生社会をつくらせていくことが必要です。

中央労福協は、これからも「福祉はひとつ」という原点を大切に、労働運動と労働者福祉事業をはじめ、消費者運動、NPO・市民運動などを“つなげる”役割を果たしていきます。それぞれの多様性を認め合いながら、様々なネットワークで「つながる運動」を広げ、ともに新しい社会や時代を切り拓いていきましょう!

2020年 年頭のごあいさつ



九州労働金庫佐賀県本部

本部長 青柳 直

新年明けましておめでとうございます。皆さまには、ご家族でお健やかに
お正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。皆さま方の多大なるご支援をいただき、おかげさまで業績は預金・融資とも堅調に推移致しております。心よりお礼申し上げますとともに、本年もどうぞ変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

さて、昨年は令和という新しい時代が幕を開けました。平成の初めの日本は、GDP、企業の株式時価総額、学術論文数、特許登録件数などの国際順位でいずれもトップレベルにありました。しかし、30年を経た今はどうなっているでしょうか。現在は、相当劣位にあり国力の低下は数値からみても明らか状況にあります。

また、国内においては2019年に生まれた赤ちゃんの数

が1989年の統計開始から初めて90万人割れと過去最少となり、出生数の減少が推計よりも2年早く進んでいることが明らかになりました。このまま少子化が加速し続けていくと、日本の社会保障制度や様々な構造が大きく変化していくことは避けられず、何者かのせいにし将来を憂えているだけでは何も変わりません。私たち一人ひとりが、その当事者として今できることを具体的な行動として起こすことが求められています。

さらに、今の世界は変化が激しく未来予測が難しいと言われ、金融業界においてもキャッシュレス化・IT化など急速に進展しており労働金庫としても遅れをとることなく取り組みを展開していかなければなりません。

その一つに、昨年10月22日よりろうきんアプリのサービスを開始し、さらには今年にはLINEpayなど各種キャッシュレスアプリと提携し、更なるお客様の利便性向上に取り組むことが予定されています。

本年も、九州ろうきんに対するご支援を改めてお願いするとともに、「ねずみ年」は繁栄の年であり、また東京オリンピック・パラリンピックの年でもあります。皆さんにとって、繁栄の1年になりますようご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

2020年 年頭のごあいさつ



こくみん共済coop佐賀推進本部

本部長 原口 郁哉

2020年初春のお慶びを申し上げます。

昨年中はみなさまより、「新生」「こくみん共済coop」の事業活動に一方ならぬご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。年が改まりましてどうぞ変わらぬお引き立てをいただきますようよろしくお願い申し上げます。

看板の架け替えだけだったと言われないように、ブランド名の浸透とともに、みなさまへの一層の「お役立ち」に向けて今年も努力したいと思っております。

さて、残念ながら昨年より自然災害の多い年となりました。佐賀でも8月末の大雨や9月の17号台風により、建物、車両、農作物などに甚大な被害が生じました。悲しいことに亡くなられた方も出てしまいました。被災されたみなさまの中には、生活リズム、周辺環境がまだ被災前に戻れていない方もいらっしゃるかと存じます。改めてお見舞い申し上げます。

と思います。

地球温暖化の影響とされる異常気象により、世界各地で災害が頻発しており多くの人命が奪われています。昨年末には、国連第25回気候変動枠組条約締約国会議(COP25)が開かれ、温室効果ガスの排出抑制を喫緊の課題として議論がなされましたが、各国の受け止め方の差が際立ちました。一方、時期を同じくしてノーベル化学賞を授賞された吉野彰さんの一連のセレモニーがスウェーデンで行われましたが、授賞者のスピーチで吉野さんは、リチウムイオン電池が地球環境問題を解決する鍵となり、技術革新により「持続可能な社会」は近い将来に実現できると力強く説かれ、希望の光を灯されました。

まさに今、社会の、特に環境面での持続可能性が問われています。こくみん共済coopでも国連のSDGs(持続可能な開発目標)に賛同しており、具体的な行動計画はこれから定めていくことにしています。これからは、技術革新を待つだけでなく、人類一人一人が行動に移していくことが求められるのだと思います。全世界に警告を発した16歳の環境活動家グレタさんに「叱られる」大人にならないよう、私自身もできることから始めたいと思います。

結びに、本年が、みなさまにとりまして幸多い年でありますことと併せ、災害が鎮まる年となることをお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

2020年 年頭のごあいさつ



佐賀県生活協同組合連合会

会長 福井 健一

新年明けましておめでとうございます。今年も宜しくお祈り致します。

昨年も全国的に大規模自然災害が多発しました。8月の佐賀豪雨による被害は広範囲となり、特に武雄市・大町町の被害は甚大で今なお復旧途中の状況にあり、改めてお見舞い申し上げます。

生協は「コープSDGs行動宣言」を掲げ社会課題を解決する中で、被災地への支援活動はもとより、高齢者見守りや生活困窮者支援、フードバンクへの支援など地域社会

づくりの取り組みを行って来ました。一方で事業状況は、人手不足やネット宅配との競争、異常気象による季節商品の需要鈍化の影響もあり、宅配事業にも影響が出てきています。今後もより厳しさを増すなかで、事業連帯強化と事業技術革新、県内生協との連携強化を図り、組合員の暮らしを支える生活協同組合としての役割を更に発揮します。

今、世界では気候変動の脅威、絶え間ない紛争、飢餓と貧困、格差の拡大などの多くの問題を抱えています。日本においても、平和の問題、貧困や孤立、過疎化、少子高齢化による担い手問題、地域では佐賀空港へのオスプレイ配備計画、玄海原発稼働と諫早干拓開門問題など、私たちの暮らしに影響する様々な課題があります。

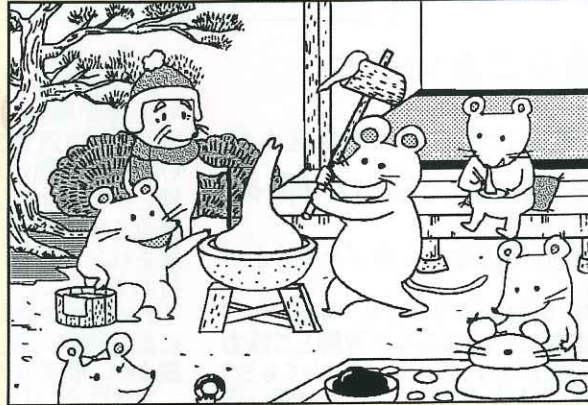
このような状況の中で、生協の具体的な活動を通して、より多くの皆さんと協同し「助け合い分かち合う協同組合の価値」を広げることを実践していきます。

満福ニューイヤー まんぷく 小昔りや子



下の絵は上の絵をベースに考えて「7つの間違い」があります。それはどこでしょう。次の①～⑧のうち、間違いの全ての番号をご記入ください。

- ①おじいさんネズミの帽子の形
 - ②餅が切れている
 - ③餅をついているネズミの足
 - ④縁側に座っているネズミが座布団に座っている
 - ⑤鏡餅に顔がついている
 - ⑥皿の中のおんこの量
 - ⑦左下の餅がドーナツに変わっている
 - ⑧おじいさんネズミの口
- ただし、印刷上の汚れやかすれ、スクリーントーンの濃淡は間違いとはしません。



旅行会

お年玉クイズ 7つのまちがいを捜し

こたえがわかった方は官製ハガキに「こたえ」と住所(〒)氏名・年令・自宅の電話番号・勤務先を明記のうえ左記のところへお送りください。お年玉として「宿泊・食事引換券(万円相当)」を名様、「図書券」を十名様に進呈いたします。(なお、お切日は、月二十四日とし、正解者多数の場合は抽選のうえ決めさせていただきます。)

〒840-0804
佐賀市神野東
四丁目七-三
勤労者旅行会
二月号紙上

▽協定旅館
【佐賀】千代田館
【川上】龍登園
【唐津】シーサイドホテル
【嬉野】華翠苑・和楽園
【武雄】武雄センチュリーホテル・春慶屋

『子(鼠)』のつく諺…

大山鳴動して鼠一匹

【たいざんめいどうしてねずみいっぴき】
「意味」不気味な地鳴りがして、大きな山が激しく揺れ動いたので、どんな恐ろしい生き物が現れるのかと思っていたら、出てきたのはねずみが一匹でした。前ぶれで大騒ぎをして、実際やってみると大して面白くなくつまらないというたとえ。

窮鼠猫を噛む

【きゅうそねこをかむ】
「意味」鼠も追い詰められて逃げ場を失うと、逆に猫に向かって噛み付いていく。弱い者でも切羽詰ると、死に物狂いで強い者に逆襲し、苦杯を舐めさせることができるというたとえ。

驥をしてねずみをとらしむ

【きをしてねずみをとらしむ】
「意味」驥二日に千里を走る名馬のことです。一日千里を走る名馬に鼠を捕らせるということで、有能な人につまらない仕事をさせる、人の使い道を誤る事のとえ。

千鈞の弩はけい鼠の為に機を発はず

【せんきんのどはけいそのためにきはなはず】
「意味」千鈞(せんきん)…価値の高い事、弩(ど)…石弓、けい鼠(けいそ)…はつかねずみ
はつかねずみを捕るのに、強い石弓を使って射るようなことはしない。大志あるものは、みだりに軽はずみな事はしないというたとえ。

袋の鼠

【ふくろのねずみ】
「意味」袋の中に追い込まれた鼠。どうする事も出来ない苦境に追い詰められた状況をいう。

猛虎鼠となる

【もうこねずみとなる】
「意味」猛獣として恐れられる虎も、その威を失ってしまえば、鼠と同じで怖くは無い。権力者も、その権威を失えば無力になるというたとえ。



2020
【ね子】十二支の第一番目。ねずみ。年月口にいるほか、方角では北時刻では今の午前零時ごろ、また、その前後二時間を言う。